

科目ナンバー	SEM-3-004-ky			科目名	課題演習Ⅱ（野口）		
教員名	野口 華世			開講年度学期	2020年度 後期	単位数	2
概要	・課題演習Ⅰと基本的には同じであるが、次の点を補足する。 ・後期は歴史学の学術論文講読が中心となる。学術論文を読むことにより、先行研究とは何か、研究史をたどるとはということかを学ぶ。これが、4年生での卒業論文作成につながる。						
到達目標	・課題演習Ⅰと同じであるが、次の点を補足する。 ・各自、卒業論文のテーマを決定する。 ・そのために、学術論文を選んで読み、そのまとめを発表する。 ・したがって到達目標は、自分なりの卒業論文テーマを設定し、自分なりにその研究史を学び、課題を見つけて解決していく、あるいはその準備を整えるということである。						
「共愛12の力」との対応							
識見	自律する力			コミュニケーション力		問題に対応する力	
共生のための知識		自己を理解する力		伝え合う力		分析し、思考する力	○
共生のための態度	○	自己を抑制する力	○	協働する力		構想し、実行する力	○
グローバル・マインド	○	主体性		関係を構築する力	○	実践的スキル	
教授法及び課題のフィードバック方法	課題演習Ⅰと同じ。						
アクティブラーニング	○	サービスラーニング			課題解決型学修		○
受講条件 前提科目	必修。課題演習Ⅰを履修したもの。						
アセスメントポリシー及び評価方法	課題演習Ⅰと同じ。						
教材	課題演習Ⅰと同じ。						
参考図書	課題演習Ⅰと同じ。						
内容・スケジュール	①授業内容・課題演習Ⅰと同じ。テキストをもとに、その読解・レジュメ発表（プレゼン）・質疑討論（ディベート）をおこなう。 ・課題演習Ⅰ同様、テキスト（学術論文）をもとに発表（プレゼン）する。発表にもとづき質疑討論（ディベート）をおこなう。 ・卒業論文のテーマを模索し、それを発表（プレゼン）する。発表にもとづき質疑討論（ディベート）をおこなう。 ・1月には各自、卒業論文のテーマを確定し、まずは先行研究をできるかぎり探し、読みこなす。その上で、卒論の内容・見直しなどを発表（プレゼン）する。 ・卒論に向けたレポート（先行研究まとめ）を作成する。②③授業外学習と目安時間・課題演習Ⅰと同じ。 ・卒業論文作成に向けて先行研究探し、その読み込みなどを個別に行う。 ・レポートとして先行研究のまとめを行い提出する。 ・4年生の卒業論文発表会の準備・運営をする。 ・春の史跡見学会の場所選定を学生同士でおこない、プレゼンする。 ・KCGを用いて「自分史」を作成して発表し、就職活動に役立てる。 *以上の授業内容は進度・理解度などにより変更する場合がある。						

Number	SEM-3-004-ky	Subject	Junior Specialty Seminar II			
Name	野口 華世 (Noguchi Hanayo)	Year and Semester	Second semester for 2020	Credits	2	
Course outline	0 Same as "Junior Specialty Seminar I".?					